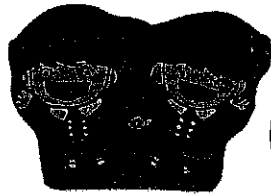


# なかひろ タイムス 2018 10月号

～子育て応援情報誌～ 糸魚川幼稚園



ズック等のサイズが難しいですね。X-カーによって微妙に違ったり。先ず子どもに「きつい!」「ゆるい!」「痛い!」と聞いても(・?)で「きつい」と言われても「本当はいい!」と疑ってしまうし、知識がなくて。気に入らないズックの時は「きつい」と言い、キャラクター系の可愛いズックだと大きすぎて「ちやうどいい」と言ってしまう。透明なズックの足本があれば、指の様子もすぐわかるのにな〜と思い

朝夕の吹風や聞こえてくる虫の音から秋の深まりをより一層感じられる頃となりました。晴れた日の空はとも澄んでおり、何をやるにもさわやかに体を動かしたり、季節でもあり、皆々まよって身心共に爽やかな秋となりましたように...

前回のなかひろは糸魚川は...『ミニミニうんどうかい』を楽しみました。フラフープを用いて、お家の人と電車ごっこをしてみたり、トンネルくぐりもしたり。わがが直径1.8cmほどで、くぐるという動作も幼い子どもには難しが必要なんですよ。あ、玉入れの光りのおたけ!?のようにカゴに玉を入れてました。

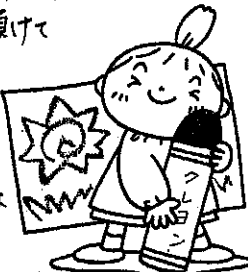
## 次回のなかひろは



紙粘土に色づけをし、思い思いに創作します。子どものリクエストに応じて作る方あり! 幼な遊びのため手型、足型をとる方あり! 子どもより夢中になってものあそび—大作を作る方あり! 子どもがやりたい放題やったままの方あり! と色々様々ですよ。草履から私たちがつや出しニスで塗るんですよ。この部品のなつた?! 粘土を伸ばしてあげてあげて!

という作品も丁寧に塗らして頂いています。更になかひろのお友達の作品も10月13・14日に行われる**力作展レバザ**に展示しますよ。久しぶりに粘土の触感をお楽しみ下さい。

その力作展に向けての活動がほぼまちと始まっています。描いて、切って、貼って、塗って... 先生は材料を準備したり、子どもたちが作ったものをより良く見えるような展示方法を考えるために、子どもの(手)が「伸べれば」な〜んにもできないんですよ。一般的には作品展or展覧会と言われるのが、**作品**...じきこめて制作したものを**力作**...他のお友達は全精力を傾けて仕上げた感じられる作品と辞書にもあるように、糸魚川では、『はたちわたくしあの子さくせん』と題して行います。11月の保育室が大変身しますよ〜又保護者会による心あたたまる**バザ**もあります。市内は色々なイベントもあり、こちらもぜひのぞいて下さい。



## 靴の選び方

- 子どもの足の骨は軟らかく未発達です。足にフィットする靴を正しく選びましょう。次のことに気を付けてください。
- ①つま先にゆとりがあり、指先が動かせる
  - ②甲の高さを調整できる(面ファスナー式など)
  - ③かかと部分がしっかりしているなど
- 「すぐに大きくなるから」と大き過ぎる靴では足や動きの発達を妨げます。



いお店の方に提案されたこともありまして。つい先日、娘のズックを買いに行き「17cm」と思い込み17cmの棚のを見たらなんと「きつーい」と訴え...「きついわけないじゃ〜ん。この前16→17cmになったんだから〜」なんて言っていると店員さんが「足のサイズ計ってみませんか?」となり...なんと17.5cmありまして、その計測板に足を出した時も親指を曲げており、「お母さん、指を曲げるくせがついてます〜」と申された状態で履かせてあげてね〜と...。ごめんねさいご結局18cmのズックを購入してきました。11月の間にこんなに大きくなったのか...靴の整理をする時に出来る川の流れのくせ、12cmや13cm「こんな小さな足だったのにな〜」

## 読書の秋 えほん

ここの話...実は私は、本を読むのが苦手で、活字を見ると赤く眠たくなるし、読書感想文の宿題も嫌で、あらすじを読んで書いてみた。同じタイトルのビデオを見て書いてしまっ。この仕事について園児の前で絵本や紙芝居を読む機会が多くありますが、読みながら眠たくなりそうなので、我が娘ができてから「寝る前の一冊」なんて思いついて、寝転がりながら見ようと思ったら本を持つ手が痛くなるし、消灯灯れば見えないし、藁紙や創作話をしていると私の方が「ね〜、起きて〜」「だからおはに!」とツッコまれるし...絵本をプレゼントしようと思っても選ぶのも難しいですね。しかも安くない、人それぞれ興味も違うし、1冊1冊のキャラクターの本の方が喜ばれてくれるし、お言葉とお会い、言葉を獲得し、たくさんのお言葉を蓄えていく0・1・2歳の時期に子どもたちの言葉と心の成長の大事な部分を支えるのが、発達に合わせた絵本はぜひです。初めはお家の人と1対1で見ると絵と言葉を照らし、自分でページをめくることを経験したり...集団に入ると誰かに読んでもらうのをみんなが聞いて、お友だちと一緒に本を共有し世界を広めたり...子どもの生活において欠かせないもの一つになってくると思います。今では、映像・動画社会になり、絵を見て色々とイメージすることも少なくなってきました。絵本を平気で踏むお友だちもいます。新聞・小説も紙面ではなく画面で見る(読ま)時代となりました。中でも子どもが大事に抱きかかると出会う本がいろいろと願っています。



## 芸術の秋

- 入園後間もなく、家にあるぬいぐるみを1つか並べ、その前で絵本を広げ、娘に「おはに」
- 自由画帳におおきくお友達の姿を見て絵本に喜んでペロペロ書くお友だちも

## 買い物の秋

子どもが小さい時、買い物はひとりで大変です。先ず子供連れの着るカウ〜お店のカートにも子どもを座らせてお立ち始めると、キャラクターのカートは乗りたいが(かぶり重くて操作しづらいのに)〜特価品目的に行くのに「〇〇買って〜」となるし〜陳列棚の奥にある鏡に映る自分の顔を見て「ア」と言ってみたり〜一人で行くより1.5倍時間かかりますね。おま今おまは(おまの)いっつきなるとか...好きな物を買っても、好きな物を買って行くのがいいかな。ガ〜セルフレジを気に入りおまおまのこやりました。おまおまのこやりました。

## 食欲の秋

